中道南小だより 2019

かしこく　なかよく　げんきよく

発行日 令和元年５月24日
第 ６ 号
発行者　校長　河住　洋

テーマ 最高の仲間と最高の思い出を！！ 5/15~5/17

約　束

・自分のことは自分でする　・周りを見ながら行動する　・周りの人に迷惑をかけない　・勝手な行動をして友達に迷惑をかけない
・説明する人の目を見てしっかり聞く　・無駄口をしない　・わからないことはどんどん聞く　（上段：生活面　下段：学習面）

２日目　東大赤門 ➡ 湯島天神 ➡ NHK ➡ 月島 ➡ 羽田クロノゲート ➡ 海岸散策 ➡ ホテル

６時起床。朝の身支度を終え，ロビーに集合。若干寝不足の子もいたようだが皆元気な様子。近くの桜木神社で朝のつどいを行う。後に分かったことだが，この神社も学問の面でご利益のある神社で，あの有名な湯島天神より格式では上であるとのこと。（雨宮さん情報）軽く体を動かし，ホテル戻り朝食。

中学生の一団（30 名くらい）と一般のお客さん数名と一緒にバイキング形式の朝食を摂る。先生方からバランスよく食べるようにアドバイスが入る。朝からみんな，しっかり食べていた。２日目も充実した１日になりそうである。

朝食の後，ここから歩いて数分の東京大学本郷キャンパスへ。赤門の前で記念撮影。守衛さんの計らいで（？）いよいよ最高学府のキャンパスへ。緑に囲まれた素晴らしい環境。6 年後には，この中の誰かが・・・。そんな話を先生方としながら，食後の散歩を満喫。ホテルへ戻り，荷物を持って最集合。２日目のスタート。まずは，湯島天神へ！

湯島神社由緒

御祭神 菅原道真公 天之手力雄命

例祭日 五月二十五日

ご祭神は，言わずと知れた学問の神様 菅原道真公。文学者,歌人としての才に恵まれる。道真公のように『学問で立派な功績を残せますように』「東風吹かば 匂ひをこせよ 梅の花 主なしとて 春な忘れそ」の歌のように特に梅の花を好んでいたため，天神には梅林が植えられている。ちなみに，全国の「～天神」「～天神社」「～天満宮」という名の神社は全て菅原道真をご祭神としている。関東三天神は「湯島天神」「亀戸天神社」「谷保天満宮」。日本三天神は福岡「太宰府天満宮」京都「北野天満宮」山口「防府天満宮」。中学校の修学旅行が京都なら北野天満宮へ。両方行けば心強いよね。（神頼みだけではだめだけど）

まず，慣れた手つきで手水を使う。二礼二拝一礼の作法に従って，お参り。しっかり願い事を。その後おみくじをする人，御守りを買う人。私も御朱印をしっかり買わせていただきました。天満宮の使いとされている牛の銅の像があり，「牛を撫でたその手で頭を触ると頭がよくなると言われているよ」と雨宮さん。みんなで一生懸命に撫でる。天満宮の使いが牛なのは，道真が丑年生まれであること。亡くなって牛車に乗せて運搬中，急に牛が動かなくなり，道真の意志としてそこにお墓を作ったことから牛を道真の使いとしたといわれている。桜木神社から始まり，東京大学本郷キャンパス経由湯島天神行き。（赤門コース）修学旅行ではめったにない行程。これはこれでなかなか良い。

皆さん，いつか願いが叶ったらお礼に来ないとね。

続いて，ＮＨＫへ。班ごとでスタジオ体験などいろいろなコーナーを回る。私は，朝ドラの歴史コーナー（第１作1961年から100作2019年）へ。「おはようさん」で足が止まる。ビバルディの「四季」を思い出す。

昼食は，本場月島で「もんじゃ焼き」。嬉しいことに貸し切り。子どもたちが５つに分かれて，そこに先生方が入って，同じ鉄板をつつく。
３種類のもんじゃ焼きと焼きそばというメニュー。店の方に手ほどきを受け，途中から自分たちで。「師匠，どうしたらいいですか？」「うん，どうした？」とお店の人とのやり取りがそこらじゅうで。楽しそうにワイイワイ・ガヤガヤ。初めての子もいたようだが，みんなおいしいと大好評。佐野先生が入った女子のグループが一番早く完食。私は男子３人のグループに入れてもらった。猫舌の○○君は，水を飲みながら食べなければならず大変苦戦していた。普段から食の細い○○君も残すまいと，けがをしている○○君も利き手でない方で上手にへらを使い食べていた。

「ごちそうさま，大変おいしかったです。」
ＰＳ：次の日の朝食の時，前日の昼食の話題になり「校長先生は意外と見かけ倒し」と，○○君。結構頑張って食べたつもりなんだけど。

羽田クロノゲートへ。クロノゲートとは？
クロノはギリシャ語のクロノス（時間の神）と国内とアジアのゲート（玄関）になるべく，この２語を組み合わせてできた。『新しい時間と空間を提供する物流の「玄関」と同時に，物流の新時代の幕開けを表しているとのこと。
日本では物が安全に早く正確に届くことは普通だが，よそではそうはいかない。どんな仕組みがそれを可能にしているのか，その一端をまじかに見ることができた。クール宅急便の東アジア版も整い，日本の生鮮食材が次の日には台湾や香港，ベトナム，フィリピンで手に入る。それは，現地の雇用にも繋がっている。今やＴＡ－Ｑ－ＢＩＮは世界の共通語だそうだ。
また，地域貢献，付加価値を最近よく聞くが，今回の訪問でも印象に残った。この一角のいくつもある建物の一つは，保育所で社員はもちろん一般の人も利用可能。待機児童の解消に貢献。パソコンを修理に出すとメーカー経由で長い時間かかる。ここでは，「修理までして短時間でお客さんへ届ける」という付加価値をつけているとのこと。知恵とアイディアが満載。今，学校教育に生きる力の育成が求められている。一流企業の実際の現場で具体的にどのような能力なのか，どんなことが求められているのか，ほんの一端かもしれないが覗けたような気がした。お土産をもらったが，もらう手順がコンピュータ制御されていたのも新鮮であった。

盛りだくさんな２日目の日程も順調に終え，一路，江の島・鎌倉へ。湘南の海が見え，バスは海岸線を走る。もう５時を回っているが，海ではサーフィンをする人の姿も。子どもたちのテンションもだんだんハイに。海岸通りを走っていると，自然と頭の中にはサザンのメロディーが。思わず口ずさむ。「サザンってやっぱりすごいな」と感慨に浸っているうちに，ホテルニュー向洋に到着。子どもたちは濡れてもいい格好に着替え海岸へ。水遊びと聞いていたが「これでは海水浴だね」と雨宮さん。本当に仲の良い17人の子どもたち。本当に楽しそう。先生方は，そんな子どもたちを尻目に何回も人数確認を。びしょびしょになってホテルへ戻り，お風呂で冷えた体を温める。
就寝まではまだ時間があるが，２日目も無事終了できそうで，ほっと一息。

学校だよりは，南小ＨＰにカラーでアップしております。ぜひ，ご覧ください。 中道南小 検索 もしくはＱＲコードで